

## エネルギーについて

青森県立青森工業高等学校  
機械科 2年 高橋 将大

最近、日本では初めてとなる電力需給ひっ迫警報が発表されました。ニュースなどを見ていると、お店などで、それぞれのやり方で電気を節約するよう、心がけていました。そして、何とか電力を元の体制に戻すことに成功していました。このように、いざとなれば、人は様々な事例に対し、対応することができます。

しかし、そのエネルギーが今、日本だけでなく、世界的に問題になっています。例えば、人口増加や経済発展などに伴い、化石エネルギーの消費量が急増し、エネルギーの枯渇がさらに早まっていることが大きな問題になっています。

また、日本では化石燃料の中東への輸入依存やロシアとウクライナの紛争に伴う燃料価格の高騰が問題になっています。

さらに、低いエネルギー自給率も問題になっています。これまで大手の電力会社が運用してきた電力系統は、火力や水力、原子力など大きな発電所から需要地へと運ぶためのものでした。再生可能エネルギーの発電場所は、必ずしもこれまで発電所があった地域と一致しているわけではなく、効率的に送配電ができるようなつくりにはなっていません。再エネの普及のためには送電設備の増設など、電力系統の改革が必要となってきます。

これは私の個人的な考えなのですが、今まで日本は、水力発電や火力発電、風力発電など、様々な発電方法で電気をつくってきました。しかし、私はやはり原子力エネルギーをうまく使っていかななくてはならないと思います。

冒頭で述べましたが、今の日本、そして世界各国ではエネルギーの不足が深刻化しています。特に日本は多数のエネルギー問題を抱えています。その中でも現時点で影響が出ている電力需給問題をどうにかしなくてはなりません。それはいつかではなく、今考えなければならない問題だと思います。

具体的な解決方法は私にも正直、はっきりと分かりません。そこで、現時点で私が思っていることを書きます。

まず、日本は将来的な電力安定供給に向けて、次世代型原発の建設を検討する方針を発表しています。少し前の話になるのですが、20

11年3月11日に日本最大級の震災である東日本大震災が発生しました。その震災で多くの犠牲者が出ました。さらには、福島県で福島第一原子力発電所事故が発生し、広い範囲で避難区域が指定されました。その事故を踏まえ、さらに安全に稼働することができるように次世代型原発の建設をする方針になったのだと思います。

私たちが住んでいる青森県には、東通原子力発電所や原子燃料サイクル施設があり、原子力発電との関係が深いです。そもそも、なぜ原子力発電の再稼働に力を入れているのかというと、発電時に二酸化炭素を排出しない、そして発電コストが安定している、燃料の安定供給が可能になるという点が大きいからだと思います。さらには、電気料金の安定にも役に立ちます。このように、メリットが大きいので原子力発電は欠かせないのだと思います。

今の青森県は、もっとこの問題について考えるべきです。そして、原子力発電に少しでも貢献して青森県が持つ強さを見せ、全国にアピールするべきだと思います。青森は日本の中でも面積が広く、自然環境が充実しています。それを利用して、原子力発電の施設を創ったりすれば、日本だけでなく、世界各国にも貢献できると思います。

このように少しずつでも、青森県から積極的にエネルギー問題について取り組んでいき、他の県にもエネルギー問題の深刻性をアピールするべきだと思います。

#### ◎参考

\* 関西電力（株）よくあるご質問 原子力発電について

Q. 原子力発電のメリットとはなんですか？

[https://www.kepcoco.jp/siteinfo/faq/atomic/9997819\\_10620.html](https://www.kepcoco.jp/siteinfo/faq/atomic/9997819_10620.html)

\* 東通村と原子力 東通原子力発電所の役割

<https://www.atom-higashidoori.jp/hvae/>